

都市計画全国大会が開催されました

都市計画課

第69回都市計画全国大会が、11月16日から17日にかけて、本県を会場に開かれました（本県では39年ぶり2回目の開催）。

大会には、全国から都市計画行政関係者等約800人が参加しました。

16日は、盛岡市民文化ホール（マリオス）などで、関係者への表彰や講演などが行われたあと、各部会に分かれて先進市町村の事例発表等が行われ、活発に議論されました。

また、17日は、県内3コース（「紫波・平泉コース」「復興 宮古コース」「復興 陸前高田・大船渡コース」）に分かれ、現地調査を行いました。

全国から参集した方々から好評のお言葉をいただき、成功裏に終わることができました。

開会宣言
(中野県土整備部長)



開催県挨拶
(千葉副知事)



記念講演「駅を中心としたまちづくり」
(東日本旅客鉄道株式会社 浅見郁樹 常務執行役員)



表彰式



都市計画協会会長賞として、
・盛岡市「盛南開発による北東北の拠点づくり」
・紫波町「公民連携手法を導入したまちづくり『オガール・プロジェクト』」
・花巻市 立地適正化計画による「高齢者・大人と若者・子供が生活圏を共有するまち」に向けた取組が表彰されました。

また、東日本大震災津波からの復興に取り組む都市計画区域を有する沿岸9市町村に、会長特別賞が贈られました。

主報告「都市行政をめぐる最近の動き」
(国土交通省 榑真一 大臣官房審議官)



全国の都市が置かれている現状や今後直面する様々な課題、国土交通省が重点施策として進めているコンパクト・プラス・ネットワークの全国各地での取組状況についての報告をいただきました。

また、平成29年6月に一部施行された都市緑地法等の一部改正の概要についても御紹介いただきました。